

第二十一回 帝國議會 貴族院 鑛業法案特別委員會議事速記錄第二號

明治三十八年二月十七日(金曜日)午後零時五十七分開會

○委員長(子爵谷干城君) 是ヨリ開會イタシマス

○男爵毛利五郎君 昨日ノ質問デ衆議院ノ修正ノ所ダケハ略々分リマシテゴザイマスガ、此衆議院ノ修正ニ掛ツテ居リマセヌ分ニ就キマシテ、少シク質問ヲ致シマス、尤モ數箇條ゴザイマスカラ一箇條ヅ、質問ヲ致シマスカラ、ソレニ就テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、第四條ノ第一項ニアリマスル「鑛業權者ハ鑛區ニ於テ其ノ許可ヲ受ケタル鑛物ヲ掘採シ及之ヲ取得スル權利ヲ有ス但シ鑛區ノ重複シタル場合ニ於テハ、鑛業權者ハ互ニ其權利ヲ制限セラルトアル此セラルト云フノハドウ云フ意味ナシマスカ、チヨット此點ヲ伺ヒタイノデゴザイマス

○政府委員(田中隆二君) 是ハ此鑛業法案ノ中ニ「異種ノ鑛物」ト云フ種類ノ違ツタ鑛物デスナ、其場合ニハ同ジ場所デ鑛業人ガ一人出來ルコトガアリマス、普通ノ場合ニハゴザイマセヌガ、異種ノ鑛物ト稱スルモノニ就テハ二人鑛業人ノ出來ルコトガアリマス、鑛區ハ表面カラ境界ヲ極メマスカラ、表面カラ言ヘ同ジ場所ニ二人アリマスケレドモ、其地ノ中ニ仕事ヲスル場合ニ於テハ、片一方ハ石油ヲ掘ル、片一方ハ何カ他ノ土瀝青ナラ土瀝青ト云フ鑛物ヲ掘ルト云フヤウニ分レルコトガアリマス、ソレハ雙方ノ事業ニ差支ナイ場合ニ於テミナケレバ許シマセヌケレドモ、雙方ノ鑛脈ガ互ニ横切り合ツテ居ルト云フコトモアルサウデゴザイマス、サウ云フ場合ハ早ク許可ヲ得タ方が強イトカ、早ク其所ニ著手シタ方が權利ガアルトカ云フ議論ガ起テハイケマセヌカラ詰リ雙方疑問ガ起テモナリマセヌカラ、詰リ雙方五分五分ノ權利デ一方ヲ排斥シテ一方ノミ權利ヲ得ルト云フ譯ニ行カヌカラ鑛業警察ノ取締ニ雙方ノ利益ヲ公平ニ保護イタシマスル積リデゴザイマス

○男爵毛利五郎君 モウ一應御尋ネイタシマスガ、チヨット今ノヤウナ場合ニドチラニ許スカ此部分ハ石油が出来、此部分ハ土瀝青が出、唯重複ニナツトキハ採掘が出來ナイヤウニナリマセウカ、其場合ハ双方ドチラモ手ヲ持ケルコトが出來ナイヤウニナリハシマセヌカ、又若モ先ニ願シタ者ハ石油ヲ採ルコトヲ許スト云フコトニナリマセウカ、ドウデゴザイマセウカ

○政府委員(田中隆二君) 御答イタシマスガ、ソレハ先ニ許可ヲ得テ居ル者ニ矢張リ優先權ヲ與ヘルコトニナツテ居リマスノデゴザイマス、アトノ方ノ規定デ……併ナガラ先ニ許可ヲ得テ居ル人モ差支ナイト云フテ、アトカラ又別ニ鑛掘ヲ願シテ雙方許可ヲ得テ居ル場合ガアル、其雙方許可ヲ得テ居ル場合ニ於テ、即チ雙方ノ事業ガ兩立シテ行ク場合デアリマス、大體ニ於テ兩立シテ行キマスケレドモ、其後或ル局部ニ於テ他ノ事業ガ他ノ一方ノ事業ヲ故意ニヤラウトスレバ邪魔シ得ル場合ガ起シテ來マスカラ、其場合ノ豫防ニ此規定ヲ設ケタノデアリマス、丁度三十一條デゴザイマス、三十一條ニ其異種ノ鑛物ノ出願が出来テ參ルノテアリマス、ソレデ異種ノ鑛物ノ事ヲ申上ダタノアリマス、サウシテ三十一條ノ方ハ異種ノ鑛物ヲ願シテ來タトキニテス、重シタトキニ何時デモ許可スルカ

○政府委員(田中隆二君) 御答イタシマスガ、サウデゴザイマセヌノテ、第九條ヲ御覽下セラバ分リマスガ、九條ノ末項ニ「同一鑛區ニ於テハ二以上ノ鑛業權ヲ設定スルコトヲ得ス」ト同ジ場所ニ鑛業權ニテ設定スルコトが出來ナノガ原則ナノテス、唯其異種ノ鑛物デアルトキハ出來ルトゴザイマス、デ其異種ノ鑛物デアル場合ニ初メテ第四條ノ但書ノ適用が出来テ參ルノテアリマス、ソレデ異種ノ鑛物ノ事ヲ申上ダタノアリマス、サウシテ三十一條ノ方ハ異種ノ鑛物ヲ願シテ來タトキニテス、重シタトキニ何時デモ許可スルカ、オレハ土瀝青ダケデ宜シトイト云フテ他人ニヤラスルヤウナ場合ガアル、其場合ニハ此法アトカラ石油ノ願ガ他カラ出テ來タトキニ先ニ許可ヲ得テ居ル者ガ矢張リ石油ヲ採掘シヤウ、斯ウ云フコトニナレバソレハ其方ニ許スノアリマス、ケレドモ先ニ許可ヲ得テ居ル人が、オレハ土瀝青ダケデ宜シトイト云フコトニナリマス、互ニ兩立ノ出來ナシ事業デアリマスルト許シマセヌガ、兩立ノ出來ル事業デゴザイマスト許シマス

○男爵毛利五郎君 サウシマスルト若モ先ニ出願シタ者ガ不同意ヲ言テモ政府ニ許サレマスカ、アトカラ出願シタ者ニ對シテ……

○政府委員(田中隆二君) 御答イタシマスガ、適當ナル不同意ノ理由ガアレバ許シマセヌノデゴザイマスガ、單ニ不同意ト云フダケデハリレハ採用イタシマセヌ、事業上自分ノ仕事ニドウシテモ妨害ニナル、サウシテ事業ガ兩立出來ナイト云フコトニアレバ許シマセヌ、丁度三十一條ノ末項ニ書イテゴザイマス、アトカラ願シテ來タノハ出願ガ他人ノ鑛業ニ妨害アリト認メタルトキハ云フ許可セズト云フ規定ガアリマス

○子爵平松特厚君 チヨット政府委員ニ御尋ネイタシマスガ、唯今ノ御説明ニ依テハ、愈々此法文ガ分ラナクナリハシマスマイカト思ヒマス、ナゼトナレバ其異種ノ鑛區ニ於テ同種ノ鑛區ニ於テ同種ノ物ヲ他カラ一條デハシキリシテ居ル、然ルニ是ハ第四條ノ即チ同種ノ鑛區ニ於テ同種ノ物ヲ他カラ願出タ場合ニハ、互ノ權利ヲ制限セラル、斯ウ云フ趣意テ此四條が出來タモノト思ヒマスガ、茲ヘ持ツテ來テ異種ノ物が這入ルト三十一條ノ御話ハ要ラナクナル、故ニ茲ニモ、矢張リ其異種ノ物ヲ含ミ又三十一條ニモ出スト云フノアリマセウカ

○政府委員(田中隆二君) 御答イタシマスガ、サウデゴザイマセヌノテ、第九條ヲ御覽下セラバ分リマスガ、九條ノ末項ニ「同一鑛區ニ於テハ二以上ノ鑛業權ヲ設定スルコトヲ得ス」ト同ジ場所ニ鑛業權ニテ設定スルコトが出來ナノガ原則ナノテス、唯其異種ノ鑛物デアルトキハ出來ルトゴザイマス、デ其異種ノ鑛物デアル場合ニ初メテ第四條ノ但書ノ適用が出来テ參ルノテアリマス、ソレデ異種ノ鑛物ノ事ヲ申上ダタノアリマス、サウシテ三十一條ノ方ハ異種ノ鑛物ヲ願シテ來タトキニテス、重シタトキニ何時デモ許可スルカ、オレハアリタクゴザイマセヌカラ、先ノ鑛業人ガアレバ先ノ鑛業人ニ特權ヲ與ヘテ、總テ権利ヲ與ヘルコトニシテアル、先ノ鑛業人ガ望マスト云ヘバ他人ニ許ス途ヲ三十一條デ

開イテアルノデゴザイマス

○男爵毛利五郎君 今度ハ第十七條ノ但書ノコトニ付テ質問ヲ致シタウゴザイマスガ「但シ採掘權ハ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得」ト是ハ私が考ヘマスルニ非常ノ妨害ガアルデアラウト思ヒマスガ、之ニ付テ別段ノ規定デモザイマスカ、例ヘテ申シマスト石炭鑛區ナドニ於キマシテハ鑛業權者自ラガ採掘ヲシマセヌデ他ニ俗ニ申シマスル切先掘ト云フコトニシマシテ採掘權ヲ與ヘテヤルト云フコトガゴザイマス、其採掘權ヲ得テ居ル者ガ採掘權ヲ抵當トシテ資本ヲ借入レルト云フ者ガ往々アルヤウニ見受ケテ居リマスガ、其結果此採掘權ニ對シテ資本ヲ貸シタ者ガ其貸金ノ延滞又ハ返済ヲシナイ爲ニ採掘權ヲ取テ仕舞フト云フコトガアルヤウニ見受ケマス、サウシマスト其採掘權ノ時ニ鑛業權者ガ初ノ採掘權ヲ與ヘタ者ニ條件ヲ附ケテ置キマセウ、其條件が今度第二ノ即チ資本ヲ貸シタ者ガ其金ヲ返済セヌ爲ニ採掘權ヲ取上ゲタ其場合ニ同シ前ノ條件ヲ以テ採掘スルト云フ不都合が起ルコトガアラウト思ヒマス、此採掘權ヲ抵當ノ目的トスルコトヲ許スト云フコトハ鑛業即チ石炭デ申セバ即チ石炭ノ鑛業ニ非常ノ弊害ヲ起シハシナイカト私ハ思ズテ居リマス、之ニ付テ何カ特別ニ…採掘權者ト鑛業權者トノ間ニ條約ヲシテ第一ノ採掘權者ニ讓ラネバナラヌト云フヤウナコトニ付テ細則デモ出マスカ

○政府委員(田中隆三君) ソレハ少シ法文ノ解釋ヲ立法ノ主旨ト取違ヘテ御解釋ニナッタラウト思ヒマスガ、詰リ是ハ現行法ノ特許權ノコトデアリマス、今度ノ法律デ採掘權ト試掘權ト二ツ名前ヲ付ケテ雙方併セタ權利ヲ鑛業權ト稱シテ居リマス、今度ノ鑛業權ノ中ノ採掘權ト云フノハ現行法ノ特許權ノコトデアリマス、切先掘ナドノコトデハアリマセヌ、即チ特許權ヲ抵當ニスルト云フノハ何等ノ弊害モゴザイマセス、又今日ノ法律デモ許シテ居ルコトデアリマス、採掘權ト云フモノ、解釋性質ガ即チ極ツテ今日ノ特許權ノコトデアルトナレバ、唯今ノ御質問ノ憂ハ萬々無トイ思ヒマス

○男爵毛利五郎君 分リマシタ、併ナガラ私が申シマシタヤウナコトヲ制限スルニハ何カ別ニ規定ガ出ルノデアリマスカ

○政府委員(田中隆三君) ソレハ今日ト雖モ法律上認メマセヌノデアリマス、謂ハユル鑛業權者ナラザル者ガ或ル場所ニ於テ鑛業ラスルト云フノハ事實ニ於テハ鑛業權ノ名前ヲ借リテ鑛業權者ナラザル者ガ仕事ヲシテ居ルコトハ無トイハ申シマセヌ、有ルニ相違アリマセヌガ、ソレハ表向キデアリマセヌノデ法律ノ保護ヲ得ラレザル舉動アリマスカラ今日デモ何カ争デアリマスト裁判所ハ保護シテ吳レマセヌ、此法律ニ於テモ固ヨリ認メラレザル權利デアリマス、特別ノ取締規則モハ權利關係モ定メル考ハゴザイマセヌノデアリマス

○男爵毛利五郎君 繼イテ第十七條ニ關係シテ居ルカ居ラヌカ私ニハ能ク分リマセヌガ、今御説明ニナック採掘權ヲ抵當ニスル場合ニ割ッテ抵當ニシテ居ルコトガアル、例ヘバ其中何分ノ一ヲ抵當ニ何分ノ一ノ權利ダケ與ヘテヤルカラ其權利ヲ持テ居ル者ガ抵當ニ入レルト云フコトガアリマシテ、サウシテ其者ガ即チ借リタ金ニ對シテ返済ガ出來ヌトキハ債權者カラクノ差押ヘル場合ニ何分ノ一ト云フダケノ約定デ、ドコカラドコマデト云フ區域ハ定メテナイ、サウ云フ場合ニハ裁判所ハドウ云フ判断ヲサレルデアリマセウ

○政府委員(田中隆三君) 御尋ネノヤウナコトガアリマシテ役所ニ於テモ取扱上甚ダ

困リマスノト、ソレカラ裁判所ノ仕方が區々ニナッテ、或ル場所ニ於テハ宜シト云ヒ、或

ル場所ニ於テハイケナイト言フタリスル、場合ニ於テ詰リ鑛業權ノ性質が明カデナインデアリマスカラ、サウ云フコトガアラウト思ヒマシテ十六條ニ「鑛業權ハ不可分トス」ト云フ原則ヲ置キマシテ當事者ノ考ヲ以テ分割スルコトヲ許サナイ、ソレカラ又數名デ鑛業權ヲ持テ居ル場合ニハ其ノ相互ノ間ノ權利關係ハ民法ノ組合ニ關スル規定ヲ準用スルト云フコトニナリマシテ、一人ノ人が自分ノ權利ヲ譲ツタリ廢止スルコトニ付テハ、總テ組合ニ依テ詳細ナ規定ガ民法ニアリマスカラ、ソレニ依アヤルコトニナリマス、詰リ其結果自由ニ鑛區ノ一部分が差押ニナルトカ誰カニ引渡サナケレバナラヌトカ云フコトモゴザリマセズ、自分ノ望マナイ人ガ急ニ組合人ニナクテ加ハッテ來ルト云フコトモ將來ハ起リマセヌノデアリマス

○男爵毛利五郎君 サウ致シマスト現今ノ鑛業條例六十六條ノ「鑛業權ハ不可分トス」ト云フヤウナモノハ無イノデ、今度這入ッタヤウニ思ヒマスガ、現今サウ云フヤウナ鑛業權ヲ區分シテ願ヒハ出シテ居リマセヌカ、或ル一人ノ者ニ現ニ與ヘテアルト云フトキニ又其鑛業權ヲ他ニ抵當ニ入レルトキニ債權者ハ之ヲ差押ヘルトキハ效力ハ無イノデアリマスカ

○男爵毛利五郎君 サウ致シマスト現今ノ鑛業條例六十六條ノ「鑛業權ハ不可分トス」ト云フヤウナモノハ無イノデ、今度這入ッタヤウニ思ヒマスガ、現今サウ云フヤウナ鑛業權ヲ區分シテ願ヒハ出シテ居リマセヌカ、或ル一人ノ者ニ現ニ與ヘテアルト云フトキニ又其鑛業權ヲ他ニ抵當ニ入レルトキニ債權者ハ之ヲ差押ヘルトキハ效力ハ無イノデアリマスガ、ソレハ全ク別ノ理由カラ起ルノデアリマスカラ、一ノ特許權ヲ約束テ分割スル、又裁判所ノ力デ強ヒテ分割スルコトハ認メマセヌノデアリマス

○男爵毛利五郎君 矢張リ之ニ關聯スルヤウデアリマスガ、第三十五條ニハ是ハ事ニ依ルト衆議院ノ修正デ變ニ居ルカ知レマセヌガ、原條ノ三十五條第二項ニゴザイマス、區分ヲシタ上ニ鑛業權ヲ抵當致シマストキニ終ヒニゴザイマス「出願ヲ爲サムトスルトキハ抵當權者ノ承諾及抵當權ノ順位ニ關スル協定ヲ經ヘシ」此順位ハドウ云フコトデゴザイマスカ

○政府委員(田中隆三君) 御答イタシマスガ、三十五條ノ一項ハ所謂今御話ノ鑛區ノ一ツアルモノヲ一緒ニシテ仕舞フ、或ハ一ツノモノヲ一箇以上ニスルト云フ場合デゴザイマス、其合併スル方カラ申シマスルト甲ノ鑛區ニ一人ノ抵當權者ガ附イテ居ル、乙ト云フ鑛區ニモ又別ノ抵當權者ガクツツイテ居リマス、其一ツノ鑛區ヲ合併シタ場合ニ甲ノ鑛區ニ抵當權者ト乙ノ抵當權者ト權利關係ハドウナルカ分ラヌ、或ハ鑛區ハ小サクテモ金高ハ大キイカモ知レヌ、乙ノ方ハソレニ反對スル狀況ガアルカモ知レマセヌ、ソレデ合併シタ場合ニハ當然甲ノ方ノ鑛區ガ先キニ登記シテアルカラ其方が優先權ガアル、ソレニ付テモ例ヘバ甲ノ鑛山ハ金高ハ大キイケレドモ鑛山ノ直打ハナイカモ知レマセヌ、之ニ反シテ乙ノ方ニハ金高ハ假ニ少ニシテモ非常ニ直打ガアルカモ知レマセヌカラ合併サレルト時ニハ抵當權者間ニ協議ヲ調ヘテ掛ラナケラヌ順序デアリマス、誰ガ先取權ヲ持ツカ或ハ今度新規ニ五分五分ニ分ケルカモ知レマセヌ、順位ト云フノハ優先權ノ順序ノコト

ヲ言フノアリマス

○下條正雄君 私ハ今マテ決算委員ノ方ニ居リマシタノデ、チヨット缺席ヲ致シマシタ、所ガ事ニ依ツタラ諸君ノ御質問ニ重複スルカモ知レマセヌガ、第十條ニ付テチヨット伺ヒタイト思ヒマス、此十條ノ「火薬庫及彈薬庫ノ周圍三百間以内」云々ト云フコトガアリマス、ソレカラ十一條ノ「墓地、公園地其ノ他ノ營造物及建物ノ地表地下」云々ト云フコトデ以テ、此周圍三十間以内ト云フコトガアリマス、是ハ現行法律テハ矢張リ此通りノ間數ニ法規ガナツテ居リマスカ一應伺ヒタ

○政府委員(田中隆二君) 御答イタシマスガ、現行法ノ通リテス、唯是マテノニ陸軍所轄ノ城堡ト云フ考ヲチヨット起シマスガ、是ハ陸軍省ト交渉イタシマシタ結果、城堡ト云フコトヲ削リマシテ、ソレニ代シテ要塞地帶法ト云フモノガゴザイマスル、要塞地帶法ノ區域ヲ此處ニ嵌メマシタ、此三百間ト云フ距離トソレカラ三十間云々ト云フコトハ現行法ト變リハゴザイマセヌ

○下條正雄君 更ニ伺ヒタイノハ、火薬庫及彈薬庫ノ周圍三百間ト云フト、凡五町アルガ、ソレカラ十一條ノ即チ二十間ト云フト半町アル、是ハ實際少シク距離が近過ぎハセヌカト云フ考ヲチヨット起シマスガ、ドウテアリマセウカ、マア是マテ實際上サウ云フ所ニ當ラナケレバ實際ノ御調查モ出來ズ又經驗モ無イト云フコトニナツテ參リマセウガ、若シ是ガ火薬庫其他ニ斯ルモノガ將來出テ來タ時分ニ又建造物ノ地下ノ如キモ一般ノ建造物ノ地下ノ如クニ二十間ト言フト僅カナモノアルガ、實際上或ハ差支ヲ生ズルコトガアラウカト云フ懸念ガアリマスガ、ソレハ是マテノ經驗上又現行法ニモ定メタ所ニアルガ、實際決シテ差支ナイト云フ御見込テアリマスカ

○政府委員(田中隆二君) 御答イタシマスガ、御尋ノ通り是マテノ實況カラ申シマシテモ又各國ノ法制カラ見マシテモ此距離ヲ以テ普通ノ場合ニ於テハ十分ナリシテ居ルヤウデアリマス、併ナガラ土地ノ狀況ニ依リマシテ極ク地層が脆イトカ詰リ急險ノ程度ノ多イヤウナ場合、或ハ同ジ川ニ致シマシテモ極ク瑣細な谷川ノヤウナ場合モアリマス極メテ重要ナ大キナ川ノモノモゴザイマス、而モ川床が砂ヲ以テゴロクスル場合ナドガアリマス、サウ云フ場合ニハ固ヨリ此間數ヲズット伸シマセネベイケマセヌ、ソレハ公益保護ノ爲ニ間數ヲ延長サセルノデゴザイマスケレドモ、通常ノ場合トシテハ先づ是ダケノモノガアレバ宜シト云フコトニナツテ居リマスカラ、是以内ニ這入ッタ時ニハ許可ヲ受ケナケレバナラヌ、斯ウ云フ原則ヲ置キマシタ、其他ノ時ト場合ニ於ケル取捨ハ取締ノ方ニ定メテ置キマシタノアリマス

○下條正雄君 第十七條ノ御尋ネヲ致シマス、既ニ先般相續稅ト云フモノガ決定ニナリマシタガ、此鑛業權ト云フモノニ相續稅ガ掛カルト云フヤウナコトハドウ云フ風ニナツテ居リマセウカ

○政府委員(田中隆二君) 御答イタシマスガ、唯今相續稅法ヲ持テ居リマセヌノデ確カトシタ御答ハ致シ兼ネマスガ、相續稅法ガ總テノ財產ニ付テ其價格ニ依テ稅ヲ課スルト云フコトデゴザイマスルナラバ、此鑛業權ノ相續ト云フコトニ付テモ相續稅ハカケラレルモノト思ヒマス、若シモ殊ニ除イテゴザイマスレバサウデゴザイマス

○下條正雄君 除イテハアリマセヌ、即チ取立テ御積リデスナ

○政府委員(田中隆二君) サウナルデゴザイマセウ

○下條正雄君 第十八條ニ付テ伺ヒスル、此第十八條ハ「登録ノ日ヨリ一箇年トス」ト云フコトガアリマスガ、二箇年經シタ所テ試掘權ト云フモノハ消滅スルモノト考ヘマス、ソレデ此一箇年目ニ同人が願ヒ繼テスレハ御許シニナルト云フコトニ假ニ見レバ、此二箇年ノ試掘ヲ實際ニシタリマセウカ、且又之ヲ御許シニナルト云フコトニ假ニ見レバ、此二箇年ノ試掘ヲ實際ニシタリマセウカ、且又之ヲ御許シニナルカ、ナラヌカト云フコトヲチヨット確メテ置キマス證據ノ有無ヲ糺サヌニ御許シニナルカ、ナラヌカト云フコトヲチヨット確メテ置キマス

○政府委員(田中隆二君) 此十八條ハ今御質問ノ通りニ、二箇年ト期限ヲ定メマシテ、一箇年ガ經ツト同時ニ消滅シマス、消滅イタシマシタ後ニ更ニ同シ人が願ヒテモソレハ差支アリマセヌ、併ナガラ許可中、即チ二箇年ト云フ期限ノアルニ同ジ場所ニ付テ他人ガ願フト云フコトノ出來ヌノミナラズ、試掘權ヲ得テ居ル人モ其許可年限中ニ願フコトハ出來ヌコトニナツテ居リマス

○下條正雄君 ソレハ正條ガアリマスカ

○政府委員(田中隆二君) 正條ガゴザイマス

○下條正雄君 ソレナラ宜シウゴザイマス、ソレカラ二箇年ノ間ニ試掘ヲ少シモシナイニモ拘ラズ尙ホ願フト是モ許スト云フ御精神デアリマスカ

○政府委員(田中隆二君) チヨット唯今ノ御質問ヲハッキリ了解イタシ兼ネマシタガ、詰リ二箇年ト云フ期限内ニ願ヘハイケマセヌ、期限ヲ過ギテ願ヘバ差支アリマセヌ、他人ノ出願モ無シ其人が願ヘバ許可イタシマス

○下條正雄君 二箇年ノ間、試掘ヲ願フテ、ソレガ消滅スルマテニ鍼モ何モ入レヌ、掘採シタ證跡ノ無イ者ガソレヲ又願出テモ御許シニナルカ、ドウカト云フコトデアリマス

○政府委員(田中隆二君) 御質問ノ通り、ソレハ致シ方ガ無イモノト認メテ別ニソレハ制限ヲ置イテ居リマセヌ

○男爵毛利五郎君 第五十九條ニ土地ヲ使用シ或ハ收用スルトキハ土地所有者及關係人ニ補償金ヲ拂ヒマスルト云フコトガゴザイマスガ、之ニ付テ一様ニ質問ヲ致シタウゴザイマス、第一番ニ願ヒタイノハ天鑛ノモノテアリマス、天鑛ト云フモノハ鑛業權者ノ所

有ニ屬スルモノデスカ又ハ土地所有者ニ屬スルモノデスカ其點ヲ伺ヒタ、ソレカラ第二ニハ第七十條ニアリマスル水ノ使用ノコトデスガ、是ハ土地ノ使用ト同一ニ認メラル、ト云フコトデアリマスガ、此水ノ使用ニ付テハ補償金ヲ矢張リ出サナケレバナライ、所ガ此水ノ使用ト云フ方カラハ宜ウゴザイマスガ、例ヘバ石炭鑛區ニ於キマシテ石炭ヲ採掘スル爲ニ水ガ無クナツタ、又現ニ無クナルコトモアルノゴザイマスガ、溜池ナラ溜池ヲ造テ吳レロト云フ希望寺土地ノ所有者即チソコニ住居シテ居ル者カラ能ク交渉シテ來ルコトガアルヤウニ見受ケマスカ、其時ニ石炭ヲ採掘シタ爲其水ガ無クナツタノヤラ、又ハ他ノ理由ニ依テ無クナツタノヤラ、之ヲ判断スルコトハ非常ニムアカシイト思ヒマスガ、矢張リサウ云フ場合ニハドウ云フ事ヲ以テ判断スルコトハ非常ニムアカシイト思ヒマスガ、矢張リアル、其場合ニハ矢張リ補償金ヲ拂フ、之ニ付テハ矢張リ何レ補償金ノ額ト云フモノニ付テ隨分土地所有者トソレカラ土地ノ即チ其下ヲ採掘シテ居ル鑛業權者トノ争ガナカアラウト思ヒマス、土地一段歩ナラ一段歩ニ付テ若シ採掘ノ結果サウナツタ云フコ

トガ分ッテ居リマスレバドノ位マデ拂ハナケレバナラヌト云フ 細則デモ作ツテ 御置キニナリマスカ、ドウデアリマセウカ、ソコノ點ヲ伺ヒタウゴザイマス

○政府委員(田中隆二君) 一番最初ノ御言葉ハ何ト云フコトデシタカ

○男爵毛利五郎君 天鑛デアリマス

○政府委員(田中隆二君) ア、天鑛デゴザイマスカ、此天鑛ト申シマスルノハ詰リマダ少シモ天然ノ鑛物二人工ヲ加ヘマセヌノテ雨、風或ハ其他ノ原因ニ依ツテ單ニ鑛脈が缺ケテ崩レテ居ルト云フト、矢張リ未ダ掘採セザル鑛物ト云フ中ニ無論含ミマスル積リデアリマス、即チ此鑛業條例ノ支配ヲ受ケル所ノ鑛物デアルト云フ積リテゴザイマス、殆ト法文ニソレヲ表ハス必要ガ無カラウト云フコトデ書キマセス、殊ニ第三條ニ「廢鑛ヲ含ム」ト云フコトガゴザイマス、廢鑛ノ如キハ或ル意味ニ於テハ一旦人工ヲ加ヘタ、即チ天然ノ有様アルモノヲ人ガ一旦掘崩シタト云フヤウナ歴史ノアルモノデアリマシテモ、尙ホ此鑛業條例ノ「未タ掘採セサル鑛物」ト云フノ中ニ入レルトスウシテアリマス、況ヤ人ノ手ガ少シモ加ツテ居ラヌト云フ天鑛ト云フモノハ未ダ掘採セザル鑛物ノ中ニ這入ルトスウ云フ積リテアリマス、ソレカラ第一ノ御尋ノ水ノ使用ノコトハ是ハ詰リ土地收用法ニアリマスル規定ヲ其儘此鑛業法ニ移シマシタノデゴザイマシテ、先日御参考ノ爲ニ御回シ致シテ置キマシタ説明ニモゴザイマスル通りニ此土地使用ニ關スル規定ハ殆ド土地收用法カラ此鑛業法ニ適用ズベキモノヲ引抜イテ參リマシタ規定デゴザイマス、文章モ何モ皆同シ書キ方ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデゴザイマスカラ其主意ハ矢張リ鑛業法モ同シ積リテアリマス、而シテ其精神タルヤ詰リ或ル他人が水ノ使用權ヲ持ツテ居ル其使用權ヲ鑛業人が分ケテ貰フ場合ハ恰モ土地ノ所有權者ニ對シテ或ル土地ノ使用ヲサセテ貰フノト同シコトデアリマス、他人が使用權ヲ持ツテ居ルが鑛業ノ必要トシテ使ヒ得ル場合ニハ使ハセテ貰フコトが出來ルト云フ即チ法律ニアリマス、土地ノ使用ト云フ事柄ト少シモ是ハ變ルコトガゴザイマセヌ、廣ク申シマスレバ或ハ土地ノ使用ト云フ中ニ這入ルカモ知レマセヌケレドモ慣習上、水ノ使用權ト云フモノハ土地ノ所有權ト別ノ取扱ヲ受ケルモノガゴザイマス、殊ニ鑛山ニハ電氣ノ應用ガ盛ニナシテ參リマシタノデ、水ヲ多ク使フ、水車ヲ動カス爲ニ水ヲ多ク使フト云フコトカゴザイマスノデ、將來最モ必要モ一條件アルト云フノデ收用法ヲ其儘ニ移シテ參リマシタノデゴザイマス、ソレカラ鑛業者が鑛業ノ結果、他人ノ地面ヲ陥落サセタ或ハ田地ノ水ヲ涸ラシテ仕舞タト云フヤウナコトハ、ソレハ唯普通一般ノ所謂他人ニ損害ヲ與ヘタト云フ場合ト異リマセヌノデゴザイマスカラ、不注意ニ因テサウ云フ事ヲ致シマスレバ所謂一般ノ民法上ノ原則ニ從ツテ損害ノ賠償ヲシナケレバナラヌコト、思ヒマスルノデ、所謂此法案ノ第三章ノ土地使用ト云々ト云フ所ニ關係スル問題デハゴザイマセヌ、此第二章ノ方ハ、初メカラ人ノ土地ヲ使フ或ハ水ヲ使フト云フコトデアレバ協議ヲシテ來ル、サウシテ其協議が調ハナケレバ相當ナ裁決者ヲ定メテ一つハ行政裁判所マテ行キ、一つハ普通ノ裁判所ヲズット經テ判斷シテ貰フ、是ダケノ問題デゴザイマス、地面ヲ陥落サセタカ或ハ水ヲ涸ラシタカ云フヤウナコトハ、全ク別ノ民法上ノ損害賠償ノ問題ニ依テ決定スル外致シ方ナイト思ヒマス

○男爵毛利五郎君 今ノ御説明デ大體ハ分リマシタガ、併シ私ハ水ノ使用ニ付テ伺タノデハゴザイマセヌ、今ノ水ヲ涸ラシタ時ノ損害デゴザイマスガ、併ナガラ鑛業ヲシテ居ル

者ガ其鑛業ノ爲ニ水ガ涸レタト云フ場合ニハ當リ前ノ損害トハ餘水ド違テ居ルグラウト思ヒマスガ、併ナガラ鑛業ノ爲ニアルカ又ハ他ノ理由デアルカト云フコトニ付テ往々争ガアルダラウト思ヒマス、之ニ付テハ此鑛業法案ニハ關係ガ無イト云フコトデアリマシタガ、若シサウ云フ場合ニ於テハ監督署ヲ取調ヲシテ其監督署ノ裁決ヲ仰グト云フコトニ

ナリマスカ、又ハ今ノ御話デ見マスト云フト、サウ云フ風ナコトニハ監督署ハ少シモ關係シナイヤウナ御話デアリマシタガ、若シモサウナリマスルト、愈々鑛業ノ爲ニ水ヲ涸ラシタト云フコトガ分レバソレモ宜シウゴザイマスガ、サウデ無イ場合モアラウト思ヒマス此點ニ付テハ鑛山監督署ト云フモノハ一切關係ハナサラヌト云フコトニナリハシナイカト思ヒマスガ……

○政府委員(田中隆二君) 御答イタシマスガ、最初御答ヲ致シマシタノハ詰リ此法律ノ解説トシテノ理窟ヲ申上ゲタノデゴザイマシテ、理窟カラ申シマスレバ此土地使用ニ關係スル規定ハ關係が無イ、併ナガラ實際ノ實事上ノ取扱ノコトヲ申シマスレバ、田地ノ水ヲ涸ラスカ其他ノコトガゴザイマシタ場合ニハ、ソレヲ取締ルコトが必要アゴザイマスルカラ、實際ニコチラデモ調査イタシマス、サウシテ事實田地ノ水ガ少クナル、是マテ田ニシテ居タノヲ今度田ニスル譯ニハ行カヌ、畠地ニ更ヘナケレバカヌト云フコトデアレバ、ソレヲ更ヘタガ爲ニ生ズル、又更ヘタガ爲ニ將來收穫ヲ減ズル所ノ損害ヲ招イタ、サウ云フヤウナ場合ニハ充分賠償サセルヤウニ鑛業人ニ說諭スル又反對ニ謂ハレナク苦情ヲ唱ヘテ鑛業人ヲ困ラセルト云フコトガアリマスレバ、德義上地主其他ニ向ツテ鑛業ノ現狀ヲ説明シテ損害ニナラナイヤウニ注意ヲ與ヘタコトモゴザイマス、ケレドモソレハ法律上ドウ云フ關係ガアルカト云フト、此鑛業法ノ方カラハ關係ノ無イコトが多イノデス、ケレドモ地面ノ陥落トカ何トカ云フコトデゴザイマスレバ、固ヨリ警察デ以テ十分取締リマス、又水ニシマシタ所ガ田地ノ水ガズンヽ減ルヤウナ遺ヒ方ヲシテ居レバ鑛業警察ノ方デ充分取締リヲサセマス

○男爵毛利五郎君 私ノ御尋ネスル點ト少シ違フヤウニ伺ヒマスガ、成ルホド土地ノ損害ハニ關係ヲシナイ又水ヲ涸ラストカ或ハ土地ヲ陥落サセタカ云フヤウナ場合ニハ鑛業警外ヲ以テ取締ヲサセルト云フヤウナ御話デアリマスガ、サウ云フノデハ無イ、若シモ例ヘバ井戸ノ水ガ減ヅタトカ何トカ云フ場合ニ在シテ、即チ鑛業權者ガ其所ニ鑛業ヲ起シタ爲ニ其水ガ減ヅタノヤラ又ハ他ノ原因デ水ガ減ヅタト云フコトガ能ク分リ惡イト云フトキニ判決ヲ下サレルノハ矢張リ鑛山監督署ヲアラウト思ヒマスガ、其判決が裁判所ニ出シテカラニ有力ノモノニナリマスカラ、ドウ云フ風ニナリマスカ、其點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマスシテ充分參考ニ供セラル、コト、思フノデス、尙ホ裁判所ハ裁判所ノ獨立ノ御職權ヲ有ツテ御居デニナリマスカラ、別ニ鑑定人ヲ選ンデ調査セシムルトカ云フヤウナコトモアラウト思フノデス、法律上監督署ヲ調ベタノガ一番有效テアツテ、ソレハ最早動カスベカラザルモノデアルト云フ譯ニハ無論行キマセス、……委員長ニチヨウト御願ヒ致シマスガ、唯今鑛業抵當法ノ委員會ガ隣室三開カレテ居リマスノデ、司法省ノ委員モ出テ辯明ヲ致シテ居リマスケレドモ、鑛山トノ關係ニ於テ私ガ出マシテチヨウト一言辯明スルヤウニト云フ御請求ガアリマスノデスガ、恐入リマスガ五分カソコラデ濟ムコトデアリマスカラ、チヨウト御許シ

○頤ヒタウゴザイマス

○委員長(子爵谷千城君) 宜シウゴザイマス

〔政府委員田中隆三君退席シ暫時ニシテ復席ス〕

○下條正雄君 極ク簡単ナ一言デ宜シウゴザイマスガ、二十二條ノ「名義」ト云フ文字ハ名前ヲ取換ヘルコトデスカ、甲ノ人間ヲ乙ノ人間ノ名前ニスルコトヲ指シタノデスカ

○政府委員(田中隆三君) 是ハ御尋ノ通リテス、願中デスカラ權利デモ何デモ無イ、甲ノ名前ニテ願ジテ居ル其名義ヲ乙ノ名前ニ換ヘテ吳レト云フノデス、俗ニ云フ出願中ノ讓渡ナンデス、其時ニ名前ヲ換ヘテ吳レト云フ權利ヲ許シタ譯デス、出願中ニ……

○下條正雄君 ソレハ御許シナルデスカ

○政府委員(田中隆三君) ハイ、今日モ許シテ居ルノデス

○男爵毛利五郎君 第七十三條ニアリマスル「農商務大臣ハ採掘權者ニ技術ニ關スル管理者ノ選任又ハ改任ヲ命スルコトヲ得」是ハ現今ノ礦業條例ニ在ルノデスカ、新ニ出

タノデゴザイマスカ、私ノ見テ見マスル所デハ技術ニ關スル管理者ハ技師ト思ヒマスガ、相當當ノ技師ヲ使ハナイテ礦業權者ガ採掘ヲシテ居ルコトガアラウト思ヒマス、此以後ハ如何ナル場合デモ礦業者ハ技師ト云フヤウナ名ノ付イタモノヲ雇入レテ採掘シナケレバナル

ヌト云フコトニナリマスカ、又其第二項ノ管理者ノ資格ト云フコトガアリマスガ、此資格ニ付テハ何レ規定が出來マセウガ、其資格ハ技師デモ宜シ、又技手デモ宜イ、ドノ位ノ程

度ノ資格ヲ持ツテ居ル者デナケレバナラスト云フコトニナシテ居リマスカ、之ヲ伺ヒマス

○政府委員(田中隆三君) 是ハ御尋ノ通デゴザイマシテ、詰リ技術者ト云フコトデゴザイマスカラ俗ニ云フ技師ト云フ者バカリデハナク、技手ノ方デモ詰リ其鑛山ノ情況ニ依ツテ取捨スル積リテゴザイマス、現行法ニハ是ハゴザイマセヌ、ゴザイマセヌガ隨分大キナ

仕事ヲシテ居ルニモ拘ラズ工夫上ガリノ誠ニ亂暴ナ技術者ガ居リマシテソレガ爲ニ屢々紛擾ヲ惹起スルヤウナコトガアルノデゴザイマス、固ヨリサウ云フノハ澤山ゴザイマセヌケレドモ、幾ラ注意ヲ與ヘテモイカヌ者ニハ命令ヲ以テ其鑛山相當ナ技術者ヲ選任セシムル或ハ改メシムル途ヲ開カウ、是ハ申上ゲルマデモナク詰リ礦業警察ニ關スル規定デゴザイマス、警察上ノ保安ノ爲ニスルノデゴザイマスカラ其鑛山ノ實況ノ上カラ割出シテ相當ナ人ヲ置カセヤウト云フノデアリマス

○男爵毛利五郎君 尚ホ御尋イタシマスガ、此技術者ノ資格ニ付テハ特別ノ規定が出ルノデゴザイマセウカ、今ノ御話ア見マスト工夫上ガリノ者ガ居ル所ガアル、サウ云フ者デハ危険デアルト云フ御話ハ御尤モナ御説デアリマスガ、資格ニ付テ何ニ學校ノ卒業證書ヲ持ツテ居ル者又ハ學士ノ名稱アル者トカ云フ風ニ御書キニナルノデアリマスカ、ソレトモ工夫上ガリノ保安ノ爲ニスルノデゴザイマスカラ其鑛山ノ狀況ハ大變ニカ云フ肩書ガ無クテモ許サレルノデアリマスカ、ドウデス

○政府委員(田中隆三君) 御尋ネノ通リテゴザイマシテ、別ニ必ズ何所ノ學校ヲ卒業シタ者デナクテハナラヌトカ云フ理由ハゴザイマセヌ、其人ノ經歷ナリノ上カラ確ニ技能アリト認メノ付ク者アレバ構ヒマセヌ、併ナガラ何レ警察上必要トシテ相當ナ資格アル者ト認ムルニハ、或ハ内國ナリ或ハ外國ナリ相當ナ學校ヲ修業ラシタカ或ハ何年間何所其所ノ鑛山ニ於テドウ云フ職務ヲ執ツテ居ルトカソレテ其鑛山ノ狀況ハ大變ニ

善ク行シテ居ルトカ云フヤウナ何レ證明ガ無ケレバナリマセヌ、多クハ學校ノ方ガ確ナル證明ニナルダラウト思ヒマス、ケレドモソレニ限ツタコトハゴザイマセヌ

○下條正雄君 チヨット私ハ二十五條ニ御尋ネシテ置キタウゴザイマス、此二十五條ノ其ノ訂正ノ出願ヲ命スヘシ」ト云フコトハ始メテ出願ヲスルトキノコトヲ言フタノデアリマスカ

○政府委員(田中隆三君) 御答ヲ致シマスガ、始メテ出願シタ出願地ガアルノデス、サウシテ願書ガアル其願書ヲ直サセルト云フノデス、採掘出願地ニ付テ何等カノ直スベキ理由ガアレバ農商務大臣ハ其訂正ヲ命スル、出願地ノ願書ヲ直サセルノデアリマス

○下條正雄君 分リマシタガ、サウスルト出願ヲ訂正スベシト云フ意味デハナイノデスカ

○政府委員(田中隆三君) 出願ヲ訂正スルト云フコトニナルノデス

○下條正雄君 チヨット文字上ノコトダケレドモ「訂正ノ出願ヲ命スヘシ」ト云フコトハ既ニ出願ヲシテ居ルモノデアレバ「出願ヲ訂正セシムヘシ」ト云フ方が相當デハナイカト、チヨット考ヘタノデアリマス、文字上ノコトデアリマスケレドモ、チヨット承ツテ置キタイ、ソレカラ第四十條ノ「礦業權者」ト云フモノノ中ニ試掘有權者ハ無論這入テ居ルノデゴザイマセウネ

○政府委員(田中隆三君) 御尋ネノ通リ這入テ居リマスノデス

○下條正雄君 是ガ若シ這入テ居ルコトニスルト「一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキ」云々ト云フコトガアル、サウスルト前ニ御尋ヲシタ第十八條ノ試掘權ノ存續期間ハ登録ノ日ヨリ「一箇年トス」其二箇年ノ間マルテ著手シナイデ居ツタ者ガ一箇年ノ後ニ再願フシタ時分ニ御許シナルカト尋ネタラ許スト云フ御答ニアツタガ、ソコガ抵觸スルヤウニ考ヘル

○政府委員(田中隆三君) 御答イタシマスガ、抵觸スルト云フヤウナコトハ無イ積リテアリマス、始メノ十八條ノ方ハ唯仕事ヲシテ居ラヌ場合ハ無論四十條モゴザイマスカ、詰リ仕事ヲシテ居ツテモデゴザイマスネ、一箇年以上續イテ權利ヲ持タセテ置カナイヤウニ、二箇年ヲ限リトシテアル、コチラノ四十條ノ方ハ仕事ノ方ハ取締デアリマス、權利ヲ持ツテ黙ツテ一箇年拋ツテ置クト云フヤウナコトハイケナイ、一年内ニドウシテモ著手セイ、是ダケノ取締デゴザイマスカラ別ニ抵觸スルコトハ無イ、雙方相待シテ全クナルノデアリマス

○下條正雄君 ソコガ私ハ抵觸スルト思フノデス、一箇年ノ間チヨットモ著手シナイデ居ツタ、ソコテ四十條デハ「取消スコトヲ得」ト云フノデアルカラ取消ニナルト見ナケレバナラヌ、ソコテ四十條デ之ガ取消シナツテ見ルト、十八條ノ方ニ二箇年ノ間著手シナイデ再願シタナラバ張り取消ヲ許スト云フコトハドウモ抵觸シテ來ルヤウニ考ヘル、ソコニテ一箇年ノ間ニ著手セヌミナラズ取消サレタ者が再願シタ時分ニ許スカ許サヌカト云フ問題ニナツテ來ル、ソレガ斯ウ云フ風ニナツテ居ルト著手シタ者モ取消シタ者モ何ニモ無イヤウニナツテ來ル

○政府委員(田中隆三君) 御答イタシマスガ、四十條ニ依テ例ヘバ一箇年内ニ業ニ著手セザルガ故ニ取消サレタル者ガアトカラ別ニ願ツテモ差支ナイ、サウシテ此四十條ハ根本ニ於テ先刻申上ゲマスルヤウニ唯許可シテ居ル間ニ取締デゴザイマシテ、期限ハ二箇年トシテ許可スルケレドモ、其許可ヲ得テ居ル間ニ斯ウ云フ情狀ガアレバ農商務大臣

○取消スコトが出來ル、斯ウ云フソデゴザイマスルカラ前ノト抵觸スルト云フ意味ハ少シモ無カラウト思ヒマス、ソレカラ又モウ一ツハ四十條ハ必ズモウ當然取消スト云フ譯デモナイノデゴザイマス、或ル場合ニハ一箇年以内ニ著手シハイデモ正當ノ理由ガアレバ農商務大臣ハ御許シニナルカモ知レヌ、是ハ取消スコトヲ得ル場合デゴザイマシテ正當ノ理由ガアレバ許サレテ居ルコトモ出來ヤウト思ヒマス

○下條正雄君 分リマシタ、ソコテ其正當ノ理由ナクシテ即チ取消サレタ者ガ再願シタ時分ニ許スカ許サヌカト云フ問題デス

○政府委員(田中隆二君) 御答ヲ致シマスガ、ソレハ許スコトニシテ居リマス、其點ニ付テ尙ホ申上ゲマスガ、ソレハ許スコトニシテ居リマス、其點ニ付テ尙申上ゲマスガ、不都合ヲシテ取消シタ者ニ又許スノが甚ダカシイデハナイカト云フ御考ガアルカモ知レマセヌガ、先日モチヨット申上ゲマシタヤウニ實ハ取消サレタ人ニ許サヌト云フアモ直グ家族ノ名前ニ願フトカ友達ノ名前ニ願フトカ、許サヌト云フモ何ニモナラヌ單ニ讓受ケレバ矢張リ同ジコトニナリマス、或ハ家族ナリ其他ノ者ノ名前ニ願テ來ルカラ事實上取消サレタ者が權利ヲ持テ居ルコトニナリマス、詰リ空文ニ屬シマスカラ取消ニ會ヘバ自分ノ權利ガ危險ニナル、他人ニ願ハレテ仕舞フカ知レヌト云フ其處ガアルダケガ自然ノ制裁ニナッテ、願ハサナイト云フコト、法律テ極メテモ役ニ立チマセヌカラ、今度ノ鑛業法案ニハ書キマセヌ、精神カラ申シマスレバサウ云フモノニヤラセタクナインハ固ヨリアリマス

○下條正雄君 現行ノ規則ハドウナツテ居リマスカ、斯ウ云フ制裁ハ無イノアリマスカ、不都合ナコトガアツテ取消サレテ復願ヘバ許スコトニナツテ居リマスカ、是ハ私ハ幾分カ制裁ヲ付ケナケレバドウモ重キヲ置カヌト思ヒマス

○政府委員(田中隆二君) 御答イタシマス、現行法ノ第五條「此ノ條例ニ依リ鑛業特許取消ノ處分ヲ受ケタル鑛業人ハ同鑛區ニ付一箇年間採掘ノ出願ヲ爲スコトヲ得スト」トスウ云フコトガアリマス、ソレハナゼ削フタカト云フト今申シタ通リ役ニ立タヌ、取消スト直グ家族ノ名ニ願シテ仕舞フ、ソレカラ同鑛區ト云フモノハ態ト鑛區ノ形ヲ變ヘテ前ノ鑛區ト同一デナイト言ツテ形ヲ變ヘテ願フ、併シ形ヲ變ヘテ願フト云フノハマダ正直ナ方ニアリマス、直グ名前ヲ變ヘテ願ヒマス、却シテ其規則ヲ置ク爲メニ役所ガ手數ヲシナケレバナラヌ、ソレ故ニ寧ソノコト此法文ハ削タガ宜カリマセヌ

○下條正雄君 幾分カ制裁ヲ付ケタクイ考デアリマス、成ルホド蔭テ本案ニハゴザイマセヌ、願ジテ來ルト云フコトハアルガ、ソレハ無形ノコトデアル、蔭ノ事ヲ抉ツタ話テアル、一遍取消サレタ者ガ再ビ願ジテ來テモ許サヌ、何年間ハ止メルト云フコトガ正面カラアル方が私ハ國際政府委員ノ言ハレル通り少シモ我ニハ效力ヲ認メヌ、ソレガ爲ニ雙方カラ面倒ヲ言

○男爵毛利五郎君 モウ一應同ジヤウナコトヲ伺フノデスガ、念ノ爲ニ伺シテ置キマス

ガ、第九十二條ニハ「土地ノ使用若ハ收用、補償金又ハ擔保ニ付協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ、鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得トアリマスガ、先キホドノ御話デハ是ハ鑛山監督署ノ方ニ關係シナイカラ、鑛山監督署ノ裁決ハ裁判所ニ出ル時ニハ参考ニナルダケデアルト云フ、輕ク見エルヤウデスガ、是デ見ルト左ホドモ無イヤウデアリマスガ、其所ヲモウ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(田中隆二君) 御答イタシマスガ、是ハ詰リ先キホド申上ゲマシタヤウニ此法律ニ依ツテ土地ヲ使用イタシマシタリ又此法律ニ依ツテ保護金ヲ拂ヒ擔保ヲ供セト云フ規定シテアル事柄ヲ九十三條ヘ持シテ來テ裁決ナリ訴訟ナリノ途ヲ開イタノデ、是ハ唯一般ニ土地ノ事ニ關シテ或ハ損害賠償ノコトニ付テ斯ウサセヤウト云フノデハアリマセヌ、何所マテモ第三章ノ「土地使用」ト云フ規定ノ範圍内ニ於テノ出来事ヲ九十三條ニ持シテ來テ締リヲ付ケタノデス

○男爵毛利五郎君 私ノ申シマスノハ先キホド土地ノコトニ付イテ陷落ノコトヲ例ニ舉ゲタノデ水ノ事ニ付テ鑛業權者トソレカラ水ノ使用者ト争ガ出來タ時ニハドウ云フヤウニ判決ヲサレマスカト云フコトヲ伺シタノデ、尙モウ一應述ヘマスト土地ノ陷落ハ重モニ地下ヲ採掘スル爲ニ起ルト云フコトガ重モナ原因アリマスガ、水ニ至ツテハ水ノ流レ方ト云フモノハ、ナカニムヅカシイモノデ、採掘シタ爲ニ水が乾イテ來タ、又ハ他ノ原因ニ依シテ水が無クナツテ來タ、ト云フコトヲ判断スルト云フコトハ非常ニムヅカシイコトアラウト思ヒマスガ、其場合ニハドウ云フ方法ヲ以テ鑛山監督署デハ裁決サレマスカ、到底鑛業權者ト土地使用者又ハ水ノ使用者トノ争ニナツテ來マスカラ多少此法案ニ關係ガアラウト思ヒマス

○政府委員(田中隆二君) 御答イタシマスガ、此第二章ノ方デ水ヲ使用スルト云フニハ例ヘバ他人ガ持シテ居ル使用權ヲ鑛業人ニ譲シテ貰フ方デアリマス

○男爵毛利五郎君 サウ云フ意味テゴザイマシタナラバ私ノ申シヤウガ惡ウゴザイマシタ、水ヲ使用スルト云フノアリマセヌ、採掘シタ爲ニ水が無クナツテ其水ハ鑛業權者ノ方ニ必要ナ水デナイ、例ヘバ井戸ナドガ涸レテ來タ爲ニ困難ヲ訴ヘタ時ニハ鑛業權者ハ採掘ノ爲ニ井戸ノ水が涸レタノデナイ、又水ノ使用者ハ鑛業權者ノ方ニ採掘シタカラ水が涸レタト云フ詰リ爭ガ起ルデアラウ、サウ云フ時ハ鑛山監督署ガ無論立入ツテ裁決サレルト思フ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(田中隆二君) 御答イタシマスガ、ソレハ今ノ田地ノ水が涸レタ、飲料水ニ關係ヲ及ボシタ云フコトガアリマスレバ、鑛業監察ノ第四章ノ規定ニ依シテ取締ヲスル、或ハソレヲ防ぐ方法ガアレバソレヲ防ぐ方法ヲ命ズルト云フヤウナ材料トシテ調ベニ掛リマス、併シ事實上特別ナ設備ヲシテモ或ハ矢張リ水ヲ涸ラストカ云フヤウナコトモ起リマセウシ、又特別ナ設備ヲセル程ノ必要ガ無イト、警察ノ取締トシテソレダケノコトヲセル必要ガ無イ、即チ損害賠償ヲ始末ヲ著ケレバソレデ宜シト認メル場合ガ段々アリマス、サウ云フ場合ニハ先キホト申述ベマシタヤウニ、ヨチラノ取調ヘタ事實ニ依テ、鑛業人ノ方ニ無理ガアレバ村民ニ是レノ賠償ヲシタラ宜カラウト上云フト、村民ニ無理ガアレバ、ソレハ多少言ヒ草が大袈裟ダカラシテ苦情ハ止メタラ宜カラウトカ、斯ウ云フ風ニ折合ツタラ宜カラウトカ相談ト申シマスカ忠告ト申シマスカ、サウ云フ手續ヲイタシマス、愈々

双方争^{シテ}賠償金が足りナイトカ、損害ノ原因ニ付テ一方ハ鑛山ノ爲ダト云フ、一方ハサウデナイト言フヤウニナレバ、ソレハ裁判所ニ持テ行^シテ其爭ヲ判断シテ貰フヨリ外致シ方ゴザイマセヌ、今日マテハ皆能ク治マリカ著イテ居ルノデアリマス、却^シテ一番困難ナノハ海軍省^ヲ新原ト云フ炭山ヲ御持チニナツテ居リマスガ、其鑛業ノ結果、一村ノ井戸ノ水ガ全ク無クナッタコトガアル所ガ海軍省^ヲハドウシテモ賠償ヲシテ吳レナイ、ケレドモコチラ^ヲ取調ヘタ結果鑛業ノ結果思ヒマシタカラ數年ニ亘^シタ交渉ノ結果、遂ニ遠イ所ニ井戸ヲ掘リマシテ、ソレカラ桶ヲ以テ村ノ近クマデ水ヲ引^シテ行^シテ、一村ノ用水ニ飲料水ヲ供給スルコトニナツテ治マリマシタ人民ト人民トノ間ハ是マデハ實地カラ割出シテ治リシガ著イテ居ルノデアリマス

○男爵毛利五郎君 サウスルト、コチラ^ヲ調査ヲシタ結果ト云フト、コチラトハ鑛山監督署ト認メテ宜シトイ思ヒマスガ、ソレデモ協議ガ調ハナイ場合ニ、裁判所ニ裁判ヲ起シタ場合ニ、鑛山監督署ノハ可ナリ有力ノモノト認メテ宜シイカト先キホド同ヒマシタガ、其時ハ唯参考ノミニナルト云フ御辯明デアリマシタガ、今ノ御辯明デハ鑛山監督署ノ裁決ハ裁判所^ヲ重ク見ラレテモ宜シトイト云フ御話ノヤウニ伺ヒマスガ、左様デゴザイマスカ

○政府委員(田中隆三君) 私ノ方ト申シマスノハ鑛山監督署が重モデアリマス、或ハ農商務省ノコトモアリマス、ソレヲ重イト自分カラ申スノハ甚ダ申上ゲニクイコトデゴザイマシテ、多分裁判所^ヲ重キヲ置イテ、材料ニ供シテ戴ケルコトデアラウト思ヒマス、又ソレヲ望ムノデゴザイマスケレドモ、裁判所ハ裁判所^ヲ獨立ノ職權ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマスカラ、或ハ裁判所^ヲ排斥セラレテ此方^ヲ關係ナイト認メタノヲ、裁判所^ヲが關係アリト認メラレテモ、ソレハ裁判所^ヲ方^ヲガ效力ガアリマス、其點ハ遺憾デアリマスケレドモ、裁判所^ヲガ結局ノ判斷者デアルト云フコトハ御承知ヲ願^シテ置キタウゴザイマス

○男爵毛利五郎君 八十五條ハ鑛產稅ノ事デアリマスガ、鑛產物ノ價格ハ金銀其他石炭山等市場ノ平均相場ヲ標準トセラル、ノハ容易イト思ヒマスガ、石油ハドウ云フ御目積リニナリマスカ、石油ハ井戸カラ出^シタ所ノモノヲ精製シテ普通稱ヘル所ノ石油が出来マシテ、其殘^シタ物ニ重油が出來テ、此重油モ相當ノ……恐^シクハ石油ヨリモ宜イ價格ニ賣買サレテ居ルト思ヒマス、詰リシノ物カラ一^シ市場ニ現ハレテ來ルノデアリマスガ、是ハ精製シタ物ノ價格デ鑛產稅ヲ取ラレマスカ、又井戸カラ出^シタモノニ對シテ價格ヲ附ケラレテ鑛產稅ヲ附ケラレルノデアリマスカ、市場ノ價格デアリマスレバ、其額ヲ定メルニハ餘程面倒デハナイカト思ヒマス

○政府委員(田中隆三君) 石油ノ事ニ付テハ石油ハ最後ニ御尋^シノ原油、即チ井戸カラ取り出シテ色々^ニ種類ヲ含シテ居ルモノニ付テ今日デハ課稅ヲシテ居リマス、而シテ其石油ニモ^シ或ル一區域、一地方ニ依テズ^シ同シ相場ニナリマス、又特別ニ飛離レタ箇所カラ出ルト云フ云フ所ハ全區域ニ亘^シテ同シ相場ニナリマス、又特別ニ飛離レタ箇所カラ出ルト云フヤウナモノモゴザイマス、サウ云フノハ別ニ市場ト目スベキモノガナケレバ販賣シタ代價ニ依テ極メテ居リマス、今度ハ特殊ノ物ニ付テハ農商務大臣が検定スルト云フコトニ八十五條デ極メテマシテ、要スルニ石油ニ付テ相場ガアリマス、例ヘバ蒲原ハドウナル、中頃城ハ卸シハドウタ云フ風ニ自ラ其地方地方ニ付テ相場ガ立^シテ居リマス

○男爵毛利五郎君 第五十六條ノ第二項デスガ、昨日御説明モアリマシタケレドモ、

私ハ此衆議院ノ修正シマシタ坑道ト云フ字ハ有^シタ方ガ却^シテ宜カラウト考ヘテ居リマスガ、政府委員ノ御話デハ強ヒテ差支ナイト云フコトデスカ坑口ト書イテアリマスト成ルホド現今ノ條例ニハ坑口タケデアリマセウガ、ソレデ衆議院^ヲ坑口ヲ明ケタラ坑道ハ掘^シテ行カレルモノト云フコトモアリマセウガ、土地ノ所有者ナドガ坑道ド云フコトハ無イト云フノデゴザイマセヌが先日モ申シマシタヤウニ成ルベク原案ヲ望ンダノデアリマスケレドモ、衆議院ハ明瞭ダカラシテ却^シテ省^ヲイタ方ガ宜イト云フノア、遂ニ斯^シウ云フ修正ニナリマシタ、併ナガラ修正ノ主意ハ坑道ヲ除クト云フ意味デナク之ヲ含メル意味デ、尙衆議院^ヲ修正シタ理由ハ五項ニ「鑛業上必要ナル工事」ト云フ廣イ言葉ガアリマスカラ、坑口ヲ切^シテ中ニ坑道ヲ進メルノハ無論、工事ト云フコトノ中ニ含ムカラ、斯^シウ修正ニナツテモ差支ナイトス

○政府委員(田中隆三君) 是マデ別ニ之ガ爲ニ紛議ガ起^シタト云フコトハゴザイマセヌ、ゴザイマセヌが先日モ申シマシタヤウニ成ルベク原案ヲ望ンダノデアリマスケレドモ、衆議院^ヲ修正シタ理由ハ五項ニ「鑛業上必要ナル工事」ト云フ廣イ言葉ガアリマスカラ、坑口ヲ切^シテ中ニ坑道ヲ進メルノハ無論、工事ト云フコトノ中ニ含ムカラ、斯^シウ修正ニナツテモ差支ナイト云フ考テアリマス

○男爵毛利五郎君 私ハ此第八十二條ノ營業稅ニ就^シテ居^シト云フモアリマスガ、現今^ヲハタシカ營業稅ハ鑛業ニ課セラレテ居ルト思^シテ居リマスガ、若シ此營業稅ヲ課シテ無カツタナラバ……例ヘバ鑛業稅ハ試掘、採掘ノ兩方トモ此鑛區ニ對シマシテ今度ハ稅が増加シテ居ル譯^シテゴザイマスカラ差支ナイヤウニ見エマスガ、今マデ營業稅ト云フモノモ取^シテ居リマシタカ、ドウデゴザイマスカ、此非常ナ差額が出^シマスカ出^シマセウカト云フコトヲ云フ考テアリマス

○政府委員(田中隆三君) 八十二條デスカ

○男爵毛利五郎君 ハイ

○政府委員(田中隆三君) 是ハ營業稅ハ固ヨリ鑛業權者ノ鑛業ニハ鑛業稅ト云フモノガゴザイマスカラ營業稅ハ課セヌト云フコトニナツテ居リマス、原則ハ……併ナガラ少シデモ餘所ノ鑛物ヲ混セマスト營業稅ヲ取ルト云フノテス、稅務監督署^ヲハ……例ヘテ申シマスレバ佐渡ノ鑛山デ餘所カラ鑛石ナリ鑛物ヲ買^シテ來^テ自分ノ竈^ヲ製鍊スル、ソレハ御料局^ヲ始メタ、サウシテ鑛業者ガヤツテ見^シタ所ガ稅務監督署カラ營業稅ヲ課シテ來^テ、其營業稅ノ課シ方ハ御承知ノ通リ營業稅法ニ製鍊場ノ建物ノ面積^ヲカ^ト、使^シテ居^シテ鑛夫ノ數トカ、資本金トカ云フヤウナモノヲ以テ營業稅ヲ課セルノデゴザイマスカラ、餘所カラチヨット鑛物ヲ買^シテ來^テ自分ノ鑛物ト一緒ニ製鍊竈^ヲ中^ニ入^レテ製鍊シマス全體ノ建物全體ノ工場ヲ標準トシテ營業稅ヲ出^シサナケレバナラス、又無論營業稅ヲ出^シサナケレバナラムト云フコトハ鑛業上非常ニ喜^シイコトデアルニ拘ラズ營業稅ノ取扱^シガ、今ノヤウ併スルト云フコトハ鑛業上非^シニ喜^シイコトデアルニ拘ラズ營業稅ノ取扱^シガ、今ノヤウナ稅務署ノ取扱^シノ爲ニ到頭皆中絶シテ仕舞ヒマシテ、甚ダ遺憾ニ存シマスノデ、今回ハ本案ニ付^シハ段々大藏省トモ交渉イシタ末、八十二條ノ如キ注文ヲ置イテ、即チ鑛業權者トシテ鑛業稅ヲ課シタナラバ營業稅ハ課セナイト云フコトニスル、斯^シウ云フ意味デ此法文ヲ置キマシタ

テゴザイマセウカ、ソレニ就テ多少私モ修正ヲ致シタイト云フ意見モ持シ居リマスガ、併シ既ニ餘日モゴザイマセヌシ、僅ナコトニ付テ協議會ヲ開クト云フノモ甚ダ遺憾デゴザイマスカラ、私ハ自分が修正ヲ致シタイト云フ考へ、若シ他ニ澤山修正が出マシテ是非協議會ヲ開カナケレバナラスト云フ必要ガアリマスレバ、或ハ提出スルカモ知レマセヌガ、ソレノ有リマセヌ以上ハ總テ今回ハ提出イタシマセヌ、願クハ此始カラ終マデ全部ヲ議題ニ供セラレマシテ御意見ノアル所ダケ片端カラ極メテ行クトカ何トカ云フコトニ致シマシテ、願クハ成ルベク早く議事ノ決定ヲ致スヤウニシタイト思ヒマス

○委員長(子爵谷干城君) 如何デセウカ

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵谷干城君) ツレナラバ其通り、マダチヨウト移リマス前ニドッヂガ宜イカ書キ方ガ二様ニナツテ居ルノデアリマスガ、後ニナルト忘レマスカラ、今御尋ニシテ置キマスガ、此四十六條ニ「備ヘ置キ」ト云フニ「置キ」ト云フ字ヲ使フテアル、ソレカラ「備置キ」ト云フ假名ヲ省イタノガアル、ソレカラ「ソレカラ一ソハ「備置」、ソレカラモウ一ソハ七十三條ニ「規程」ト云フ字ガアル、ソレハ「規程」ト云フ字ヲ書イタノト、ソレカラ「定」ト云フ字ヲ書イタノト二ソニナツテ居ル、是ハドッヂガ宜イノデスカ

○政府委員(田中隆三君) 七十三條ノ方ノ「規程」ト云フノハ資格及職務ニ關スルノデ「程」ト書キマス、一條カラ何條マテ纏マタ方ハ「定」ト云フ字デ、ソレカラ「備ヘ」ト云フノハ議院ノ慣例デ省クコトニナツテ居ルサウデアリマスカラ御省キ下サイ

○委員長(子爵谷干城君) ソレナレバモウ悉ク讀ミマセヌデ全部ヲ問題ニ供サウト思ヒマス、サウシテ御修正ノ所ニ御意見ガ出ルコト、委員長ハ心得マス、ソレデモウ是ハ全部問題ニナツテ居リマス

○男爵本多政以君 サウズルト何デスカ、モウ逐條デナシニドノ條ニ付テモ意見ヲ述ベテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵谷干城君) ソレハ宜シウゴザイマス

○男爵本多政以君 ソレデハチヨウト申上ゲタイデスガ、世間ニヤカマシイ問題ノ此五

條デスカ、是ハ矢張リ衆議院ノ委員會アタリテモ色ニ説が出来居リマスルシ、又世間ニモ

ヤカマシク言フテ居ル通り、此條ヲ削除シテ外國人ニモ個人ニシテ此鑛業權ヲ與ヘルト

云フコトニシタイト私ハ思フノデアリマス、ソレデモウ今ノ時機ハ外國人ニ勝手ニ許シタカ

ラト云フテ、日本ノ利益ヲ占メラレルト云フ場合デモアルマイシ、コチラカラモ他ノ地方ヘ行ツテモドシノク、動カナケレバナラヌ時モアルシスルカラ、コチラモ度量ヲ大キク見セテ許

スコトニシタ方が宜カラウト思フ、デ或ハ鑛業權ヲ與ヘルト云フト其爲ニ非常ニ外國人が

ヤジテ來テ外資輸入ト云フヤウナコトニモナルト云フ說モアリマスケレドモ、ソレホドノ利益ハ或ハ無イカモ知レヌケレドモ隨テ害モ何モ無イノデアリテ、

今日ノ日本ノ進シタ場合カラ見レバ、モウ斯ウ云フ事ハ許シタ方が宜カラウト思フノデス、

又此土地所有權ナドモ亦早晚許サスケレバナラヌ機會モアラウカラ、サウ云フ時ニ一緒ニヤッタ方が宜カラウト云フ政府委員ノ御辯明モアツガ、ソレハ一時ニヤラヌモ宜シ、

追々ニヤツテモ宜シ、何レ此鑛業モ早イカ晚イカ、ドウセヤラナケレバナラヌカラ、此度此法案ノ改正ニナル機會ニ此五條ヲ取テ外國人ニモ許スト云フ方が宜カラウト思フノデス、

第五條ハ削除シタイト思フノデアリマス、ソレダケノ意見ヲ申述べマス

○下條正雄君 唯今本多君カラ御提出ニナツタコトハ誠ニ開ケタ御論デ、隨分發達ヲ

圖ルト云フ方ノ側カラハ至極御尤ノコトト考ヘマス、一應御尤ニハ考ヘルケレドモ、今日ノ我國ノ度合、且ツ先ノ委員會ニ於テ政府委員カラ委シク説明モアリマシタ、隨分是ハ

モソコニ至ラケレバナラヌコトニナツテ來ル、即チ時節が到來スル譯デアリマスカラ、其時ヲ待テ改正スベキモノナラ改正スルトモ今日ノ所ハ此法律ヲ以テ單ニ其口ヲ開クト云フヤ

ウナコトハ如何ダラウト考ヘマスルデ、私ハ其御趣意ハ贊成ヲシテモ、此第五條ハ此法律ニ於テ存シテ置ク方が穩カデアラウト云フ考デアリマス

○男爵毛利五郎君 私ハ本多君ノ説ニ贊成シマス、贊成シマスノハ私ハ少シ違フ考ヲ持シテ居リマス、本多サンノ言ハレルトコロデハ一個人ノ外人ニ鑛業權者トナルコトヲ許ス

ト云フ場合ニ至ツテモ外資輸入ナドハ直グハ出來ナイト云フ考デアルガ、私ハ個人ニ許スト云フコトハ非常ニ外國人ノ感ジガ違ツテ來ルダラウト思シテ居リマス、却ツテ其結果外

國人が資本ヲ投ズルト云フコトニナリハシマセヌカ、サウナリマスルト鑛山ハ茲ニアル、併ナ

ガラ之ニ働く所ノ資本が無い爲ニ寶ノ持腐レニナツテ仕舞フ、又個人ニ許シタ所ガ其土地ヲ目的トスルコトハアル咎が無イ、併ナガラ多少ノ利益ハ得ラレルト云フコトニナリマセウケレドモ、同時ニ此鑛業ノ發達ト云フコトハ其資本ノ入レラレル爲ニ大キニ盛ニナルダラウト思シテ居リマス、ソレデ又此今必要ナル所ノ金銀鑛ナドニナリマスルト、隨分資本ノ足ラヌ爲ニ手が著カナイ所ガアラウト思ヒマスガ是等ノモノが矢張リ此一個人ガ鑛山權ヲ持ツコトが出來ルト云フ規定ニナツテ居リマスト隨テ鑛山ヲ抵當ニ取ッテ之ニ資本ヲ投ズルト云フコトが却ツテ外國人ナドハ見ク思ヒマス、若モサウデナイト云フト之ヲ抵當ニ取ッテモ自由ニ自分が營業スルコトが出來ナイト云フト此資本ヲ投ズルノニ少シ躊躇スルト云フ嫌ハアリハシマイカト思ヒマスカラ私ハ本多君ノ説ニハ贊成デアリマスガ、少シ違フ考ヲ以テ却ツテ外資輸入ヲ早クスル同時ニ今必要ナル所ノ金銀鑛ノ鑛業ガ外資輸入ノ爲ニ盛ニナリハシマイカト云フ考ヲ以テ本多君ノ説ヲ贊成イクシマス

○男爵本多政以君 今ノ毛利サンノ何ニ付テチヨウト辯シテ置キマスガ、私ハ之ヲ許ス

ガ爲ニ外資輸入ハソナニ出來マイト申シタノハ必ず外資輸入ト云フコトハ此爲ニ得ル所ハ少イト申シタノデハナイノデ、ソレハ見込通り外資輸入が出來カモ知レヌ、併シソレが出來ヌトシテモ、外ノ色ニノ事ヲ外人ニ許スト云フコトガ私ハ宜イト思ノ、斯ウ云フコトヲ申シタノデ、外資輸入が其爲ニ必ず出來ヌト申シタノデハナイノデアリマスカラ、チヨウト其事ヲ辯シテ置キマス

○委員長(子爵谷干城君) チヨウト私ハ此席カラ自分ノ意見ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、私ハ此原案ノ所ガ時勢ニ適當デアラウト思フ、即チ原案ニ贊成スルノデアリ、段

段衆議院アタリノ議論ヲ聞イテ見マスルト餘ホド物が極端ニナツテ居ルト考ヘル、ト云フモコトガ出來ルカ、迪モソソナ所ヘハ手ヲ著ケルコトハ出來ナイ、サウシテ又ア、云フ國ニナルト最早此所ニハ斯ウ云フ礦物ガアル、是ダケノ價ガアルト云フコトハ十分調査モ出來テ居ル、所ガ之ニ反シテ我國ト云フモノハ總テ地質ノ調査、土地ニ埋ミテ居ル礦物ト云フモノハドウ云フモノガアルヤラモ分ラナイ、ソレデマダ餘ホド斯ウ云フコトハ幼稚ナルトカ何幼稚ナ所デスマカリ開放シテ仕舞フト云フコトハ甚ダ早計ト私ハ考ヘル、ソレカラ又隣國ノ段々争ト云フモノモ何ヲ争フカト云アト、御承知ノ通リ戰爭ヲスルハ義戰デアルトカ何トカ云フテ理窟ハ附ケルガ、詰リ利益ノ一片デアル、利益ノ一片ノ戰爭ヲ爲シ、今日利益一片ノ争ニナツテ居ル、ソレヲドウモ内輪ニマダドウ云フ貴重ナモノガアルヤラ何ヤラ其邊ノコトガ分ラヌノニ、スカリ開放シテ仕舞ミテ誰デモ來イト云フノハ、ドウモ或點カラ言ベバ詰リ開國ノ甚シイノデ、丁度女房ナドモ共同シテ宜イト云フ社会主義ミタヤウナモノニナリハセヌカ、第一露西亞ガ支那ニ對シテ一十九年ニ秘密條約ヲ結シテ居ル、此條約ニ於テモ露西亞ハ何ヲ目的ニシテ居ルカト云アト、鑛山デアル、鑛山ノ採掘ハ先ヅ以テ我輩ニ相談ラシテ然ル後デナケレバ他ノ國ヘ許サナイト斯ウシテ居ル、ソレハ何カト云フト鑛山ヲ外國人ガ見付ケテモ之ヲ調査シテ見ヌトドンナモノガアルカ分ラヌ、ソレデ流石ニ露西亞ハ野蠻ダトカ何タク云ヒマスケレドモ、サウニ云フ利ノ點ニ至ルト先ニ押ヘテ居ル、亞米利加人ガ行シテモ英吉利人ガ行シテモ、時ニ斯ウ云フモノガアルガドウダラウ、宜シ先づ調査ヲシテ見ヤウト言フテ調査スル、何所カラ言フテ來テモ調査が出來ル、ソレカラ又日本ノ朝鮮ニ對スル議定書ヲ御覽ニナルト其通りア、鑛山權ナドハ殆ド我ニ取アテ居ルト云フコトデアル、ソレデ利益ヲ争フト云フハ列國競争ノ上ニ今日最モ必要ナコトデ、之方爲ニ攘夷主義ダノ何ダノト云フコトハ毛頭ナイ、ソレヲ拒ムハ攘夷主義ダト云フ説ガ衆議院デモアツタヤウデアルガ、ソンナコトハヌ方が宜イ、金ヲ持ツテ居ル者ガドンク持ツテ來テ開クガ宜イト云フコトニナル、何レノ國デモサウ云フ開放ハ果シテ主張イタシテ居ルカ、シテ居ツテモ國が進歩シテ居ル以上ハ行ツテ取ルコトハ出來ナイ、所ガ御承知ノ通り貧乏ヲシテ居ル國ダト今ノ質入法案ナドト云ニナル、西班牙ト云フ國ハ、行シテハ見ヌガ聞イテ居ル、西班牙デ已ミラ得ズサウ云フコトニナル、西班牙ト云フ國ハ、行シテハ見ヌガ聞イテ居ル、西班牙ハ昔ヨリ鐵山ナドハ立派ナ所デ、アノ西班牙ノ鐵ト云フモノハ殆ド世界中上等ナモノト云フヤウニ聞イテ居ル、今日ノ狀態ハドウカ知ラヌガ、鐵道ヲ造ルニハ殆ド西班牙ノ鐵デナケレバナスト云フヤウニマデ言ハレテ居ツタ、所ガ全ガ無イ所カラドンク質ヘ入レタカ賣ッタカ、ソコハ知リマセヌガ、先ヅ英吉利人ガ買占メテ仕舞ツタ、其他鐵道ハ固ヨリ電氣、瓦斯ト云フヤウナモノハ外國人ノ所有ニナツテ、今日ハドウ云フ智者が來テモアレヲ元ノ西班牙ニ回復スルコトハ出來ナイ、唯西班牙國ト云フ名ノ存シテ居ルケデ、大ニ盛ニスベキ智力即チ國力ハ皆人ノモノニ移ツテ居ル、ソレデ今ノ外資ヲ輸入スルニ便ト云フヤウナ單純ナ御論カラ御贊成ナラバ私ハ絶對ニ反對ヲスル、ソレデ政府ノ方ニ於テハ私が言フヤウナ思ヒ切ツタコトハ御言ヒナルコトハ出來 Maiト思ツテ居ル、ソレデ先ニ此位ニシテ

御置キナサルが適當デアラウ、私ドモハ一ツ日本ノ財政ヲ整理シタ上デヤリタイト思フモノコトデ、モトク今度ノ戰爭ニハ私等ハ絶對ニ反對シタ、今漸ク財政が直ルヤウナ所ヘアンナ大戰サヲ始メテドウシマセウ、露西亞ト云フ國ハ決シテ馬鹿ニ出來ナイ、何シロ世界所謂唯我獨尊ズ、自分ノ國ホド強イ國ハ無イ、自分ノ國ホド大キナ國ハ無イト云フノデ、顏ニ掛ケテモ國が潰レテモヤラウト云フノガ露西亞人トシテ人情ノ常デアル、之ニ對シテ萬己ミヲ得ヌト云フナラバ兔モ角モ、是クラ井ノコトデ大戰サヲ起シタナラバ、戰サハ捷ツテモ後トノ財政ノ爲ニ國が潰レルト云フ考デ始終人ニモ話シ伊藤侯ナドニモ話シ張リ贊成ヲスル、質ヘ入レルト云フコトハ是モ自分が一個人カラ云ヘバ最モイヤナノデアルケレドモ、是モ贊成ヲスル、ソレハ何カト云アト已ミヲ得ヌト云フコトニ止マル、ソレデ政府ガ是クラ井ニシテ置カウト云フ考ハ先ヅ是クラ井が相當アラウト思ヒマスカラ、此方ニ私ハ贊成ヲスル、ソレモ又國家が破産スルデモ何デモナイト云フ時ナラバ本多君ノ御議論ヲ又贊成スルカモ知レヌノデアリマス

○

下條正雄君

私が申上ゲタノモ其通りアリマスガ、成ルホド發達ヲ圖リ外貿ヲ輸入スルト云フ方ノ側カラ見レバ至極御尤ナコトデ、之ヲ削ルト云フノハ御尤ト考ヘマスケレドモ、サリナガラ是ハナカク重大ナコトデ、唯此一點ヲ以テ此法律ヲ議スルト云フコトトチット事が違テ居ル、若シ之ヲ假ニ一個人ノ外國人ニモ許スト云フヤウナコトニ此法律が定マツタラバ後日此法律ヲ改正スルト云フ時ニコチラノ國民デハナカク、是ハ改正ハムザカシイト考ヘル、既ニソレダケノ權ヲ與ヘタ以上ト云フモノハ、サウスルトナカク容易ナラヌモノニモナツテ參リマスルシ、此法律デ他方面ノコトヲ十分盡サズシテ門ヲ開ク、一度門ヲ開クト云フコトハ隨分容易ナラヌコトデアル、然ラバ總テ此門ヲ開カナケレバナラヌ時代ニ至ラ、開クベキノ時ニハ此法律ナドツツデナク、澤山出ルコトデアラウト思ヒマス、其時ハ兎モ角モ、今日ノ所デハ絶對的ニ是ハ許サヌト云フノデハナイ、即チ法決シテ私モ攘夷的ト云フ側カラ反對スル譯デアリマセケレドモ、中ニ重大ナ事件デ種々ノ方面ニ關係ヲ及ボシテ來ルコト考ヘマスルデ今日ノ所デハ此五條ヲ存シテ置クガ適當アラウ、斯ウニ云フ考ヘアリマス

○

子爵平松時厚君

私ハ即チ本多君ノ御說モ御尤ナ御說モ御話デゴザイマシタガ、成ル谷干城君ノ御話ノ如ク除クノハ何デモアリマセケレドモ、又之ヲ入レヤウト云フコトハ逆モ出來ヌコト考ヘマス、又重大ノ關係ガゴザイマスカラ矢張是ハ原案ノ如ク存シテ置イタ方ガ宜カラウト云フ考デアリマス、原案ニ贊成イタシマス

○

男爵本多政以君

先刻カラ谷子爵、下條君ナドカラ段々御話デゴザイマシタガ、成ルホドコチラノモノノ開カズ三居ツテ外ヘ行ツテドシク、勵クト云フコトが出來レバソレニ越シタコトハナノデアツテ、列國ノコトハ一ヶ存ジマセヌケレドモ、英吉利ヤ佛蘭西デハ外ノモノニ鑛山權ナドヲ與ヘズニ外ヘ行ツテドシク、ヤルト云フコトヲヤツテ居ルサウデアリマスケレドモ、サウニ云フコトニナリマスレバ一番宜イノデアリマスケレドモ、今日ノ日本トシテコチラヘ入レルコトハイヤダシ、外ヘ行ツテハ採ルト云フコトハドウデアウラカト思フ、ソレデマルデ外國人ニ鑛業權ヲ許サヌト云フナラバ仕方がナイケレドモ、一個人ニ許サヌト云フダケノコ

トデアラテ外國人ノ組織シタ法人ニハ許スノデアル、ソレハ多少違ヒハアラウケレドモ詰リ大同小異デアラウト思フ、モウ一步進メテ外國人ニ一個人トシテモ許スト云フコトニナリマスレバ、向ノモノガドシトヘヤツテ來ルコトハサウ思フヤウニ急ニハヤツテ來マイト思ヒマスケレドモ許スト云フ爲ニ外國人ノ感情ト云フモノハ非常ニ宜カラウト思フ、此後ノ日本ハト云フト満洲ノ經營トカ朝鮮ノ經營トカ色ニ外ニ向テ發展シナケレバナラヌコトガ澤山アル、ソレ等ニ就テハ固ヨリ日本ノ實力デ行クノデアリマスケレドモ、唯腕力バカリデモイカヌノデアラテ外ノ列國ト大ニ合同シテ手ヲ引合ッテ行カヌケレバナラヌコトガ多イ、サユニモ許スト云フコトニシテ、大ニ茲ニ外國人ノ感情ヲヤワラゲテ置イテ、サウシテ益々外ヘ向シテ互ニ手ヲ引キ合ッテ國力ヲ發展シテ行ク方が宜カラウト思フノデアリマス、一言申上ゲテ置キマス。

○委員長（子爵谷干城君）チヨット私ハモウ一言申シテ置キマスガ、外國人ノ感情ヲ

宜クスルト云フ方ハソレハ御説ノ通リコチラヘ來テ居ルモノナドハ喜ブデセウ、喜ブデゴザ

イマセウガ此外國人ノ感情ト云フヤツガドウ云フモノデアルカト云フト矢張リ是ハ利益ノ

點ニアル、詰リ利益サヘアレバ喜ブ、中ニ御世辭ヲ能ク云フ、外國人ハ中ニ言葉ノ辭令ハ

巧ミデアルカラ能ク云フ、日本人ハ辭令ヲ巧ミニヤルコトハ外國人ノヤウニハイカナイ、ケ

レドモ其辭令ニ巧ミナノヲ以テ本當ニ日本ヲ愛シ日本ヲ欽慕スルカト云フト決シテ私ハ

サウハ思ハナイ、ソレデ現ニ今度ノ戰爭ニ於キマシテモ初ノ中ハ非常ニ好意ヲ以テ迎ヘラ

レタ、所ガ嚴正中立トカ何トカ言テ居シテモ、諸次第ニ變化シテ來テカラニ今日デ見ルト

モウ佛蘭西ハ固ヨリノコト、英吉利ト雖モドン、自國ノ船テ浦鹽ナドヘ物ヲ持シテ行

グ、利益サヘアレバドンナコトデモスル、私ハ或所デ言フタコトモアタ、亞米利加南北戰爭

ノ時ニハ北部ノ船ハ南部ヘ兵器彈薬ヲ賣リニ行ツタ云フコトガアル、サウ云フ明カナ歴

史モアル、ソレテ西洋人ハ智者アス、智惠ガ進シテ居ルカラ直グニウマイコトヲ言ヒマスガ、

ノ時ニハ北船ハ南船ヘ兵器彈薬ヲ賣リニ行ツタ云フコトガアル、サウ云フ明カナ歴

我ミカラ静カニ考ヘルト安政年間ニ會澤先生が新論ヲ書イタ、其新論ノ主意ト殆ド同斯ウ云フヤウナコトヲ公然ト言フ、満洲モ取敢ズ取テ仕舞テサウシテ自分ガ満洲ヲ經營スル、ヘル最モ大ナルモノデアルト私共ハ思フ、ソレデ日本ノ愛國心ヲ發表シテ居ル所ハ詰リトマデ書イテアル、ソレデサウ云フコトガ外國人ノ感情ヲ惡クシ隨フテ彼ノ黃禍論ナドモ起ルノデ、サウ云フコトハ、ドウゾ其攘夷主義ノ治タト擴張スルノハドウカ止メテ貴ヒタトイト云フコトヲ考ヘテ居ル、ソレヲ以テ攘夷主義ト云フコトナラバ極端ナ社會主義ノ所ニ行ケバモツト貴クナラウト思フ、ソレデ私ハ絕對ニ喜ンデ賛成スルノデハナイ、餘儀ナク賛成スルノデアリマス。

○下條正雄君チヨット私ハ政府委員ニ御尋シマス、現行法デハ外國人が法人トナツテ

願ジタ時ニハ許スト云フコトハ必ズ無イコトト思ヒマスガ如何デゴザイマス。

○政府委員（田中隆三君）是ハ現行法ノ通リテ、尤モ此現行法ハ先年矢張リ衆議院デ發議セラレマシテ兩院通過シテ極リマシタノデゴザイマス、法人デアレバ構ハナイト云

フコトニ極シタノデ、ソレハ今日此通リテゴザイマス。

○下條正雄君段々本多君カラノ御説モアリマスガ、成程事業發達ト云フ方ノ側、或

ハ外人ノ感情ヲ買フト云フ幾分ノ御精神モ至極尤モト思ヒマスガ、併シ外國人ノ感情ヲ買フト云フコトハ一應御尤ノヤウ考ヘルケレドモ、若シ之ヲ問フ開イテ先刻モ申上ゲル

通リ他ノ之ト比較シタ點カラ請求シタ者ニ、ソレニ許サヌト却ツテ彼等ノ感情ヲ惡クスル、又萬一種々ノ差支ヲ生シタガ爲メニ、唯今谷子爵カラ御話ニナツタ通リニドウモ今日

ハ不都合デアルト云フコトヲ申シテ若シ改正デモスルト云フ場合ニナレバ其時コソハモツト

感情ヲ惡クシナケレバナラヌ、今日感情ヲ買フドコロデハナイ、何倍ノ感情ヲ惡クスル

云フコトニナリハセヌカト思フ、況ヤ是ハ外交問題ニ關聯スルコトニナルト考ヘマス、今日

ノ適度ノ所ハ即チ五條ヲ存シテ置ケバ至當ナコトデアラウト思フ、又後日ニ至シテ本多君

カラ御話ノ通り諸法律等ヲ改メ或ハ他ノ諸方面ニ向シテ大門ヲ開イテモ差支ナイト云フ

時ニ至レバ兔毛角其時ハ固ヨリ御注意ノコトモ貫徹致シマスガ、今日ノ我國ノ程度ノ所ヲ

以テ見レバ原案ノ通リテ至極私ハ適當ト思フノデ其事ヲ尙念ノ爲ニ申シテ置キマス

回シテ來タモノヲ僅カノコトデ協議會ト云フコトハ好マシクナイコトデ、且此法律ハ全體ニ

スカラ別段ニ述ベマセヌガ御採決ニナツテハ如何デス

○岡田良平君私モ原案ニ贊成ラヌル方デアリマスガ、モウ大分御論旨ハ盡キタヤウデ

原案ノ通過ヲ圖ルト云フコトガ必要ト考ヘマス、デ別ニ衆議院ノ修正三反對シテ更ニ修

製造所ナドト云フモノハ四十八箇所モアルガ、悉ク佛蘭西人、ソレカラ英吉利人、伊太利人ト云フヤウナモノガヤツテ居ル、ソレデ誠ニ其公平ナ御論ノヤウデアルケレドモ、果シテダケハ取ラウト云フコトニナル、サウスルト或ハ谷ハ攘夷主義ダト仰シヤルカモ知レヌガ、攘夷主義ハ私等ヨリハマダ何デス、對露同志會ナドト云フヤウナ人ノ論ヲ讀ンデ見ルト案外非常ナ攘夷主義ガアル、ソレデサウ云フ方ハ所謂日本ガ今日ハ非常ニ自尊ニナツテ

正ヲ要シタイト云フ箇條ハゴザイマセヌ

○武井守正君 私モ岡田君、下條君ト同様テ多少ノ改メタイト云フ考ハ最初カラアルノデゴザイマスガ、今マデ運ンデ會期ノ、時期モナイコトデアル、左ホド大キナ關係ヲ見出サヌコトデアリマスカラ、此儘通過ヲ望ムノデ質問モシナイデ居リマシタ、無論全部賛成デアリマス、第五條ニ對シテハ段々御說モアリマスガ、是ハ私モ大ニ抱負ガアルノデアリマスガ、少シク憚カルコトガアルカラ述ベマセヌガ、此五條ハ是非今日存シテ置カナケレバナラヌ、一應意見ダケヲ述ベテ置キス

○委員長(子爵谷干城君) ソレデハ五條ダケヲ除ケテ全部原案及衆議院ノ修正ニ御同意ノ御方ハ起立

起立者

多數

○委員長(子爵谷干城君) 多數、ソレナラ今度ハ五條ヲ採決シマス、原案ノ五條ニ賛成ノ御方ハ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

○委員長(子爵谷干城君) 多數デゴザイマス、ソレデハ是ヲ決了シマシタ
午後三時三十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵谷 干城君

千城君

委員

子爵平松 時厚君

男爵毛利 五郎君

男爵本多 政以君

農商務省

農山局長 田中 隆三君

農

商務省

貴族院議事記録第一號正誤

政府委員

武井 守正君

岡田 貞平君

下條 正雄君

農商務省

農山局長 田中 隆三君

農

商務省

貴族院議事記録第一號正誤

八	四	三	二	二	二	一	一	二〇	二〇	二〇	正	八	九	九	八	下	三三	三三	正	平松時厚	
下	下	上	上	上	上	上	上	一〇	重名	重石	びつち	上	上	上	上	上	一	一	正	神岡	
三〇	七	一	四	一	一	一	一	一	衆議院	貴族院	松平乘承	松平乘承	九	九	九	九	上	一	一	正	岐阜
如何	如何	如何	如何	二二	三五	五	四	上	上	上	上	上									
													石川	成算	生産	報告					

明治三十八年二月十八日印刷

明治三十八年二月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局